

今月の

5冊



まとめないACP

整わない現場、予測しきれない死

宮子あずさ＝著

定価：2200円（本体2000円＋税10％）

発行：医学書院 ☎03-3817-5650

ACPIは、人生の最終段階の医療・ケアについて本人・家族と医療者が話し合うプロセス。ACPが推進される中、著者は積極的治療を求めずに亡くなることばかりが推進されてほしくない考える。予想通りにはいかない人の生き死にを、看護師として家族として見てきた著者が、豊富な経験と考察から見いだしたACPの進め方を指南する。

ケアマネ・相談援助職必携 プロとして知っておきたい！ 介護保険のしくみと使い方 2021年介護保険改正対応

「ケアマネジャー」編集部＝編

定価：2200円（本体2000円＋税10％）

発行：中央法規出版 ☎03-3834-5817



ケアマネジャーをはじめとする相談援助職向けに、介護保険に関する全サービスの内容をまとめた解説書。制度全体の把握に加え、利用の手引き、ケアプラン作成時のポイントなど、使いやすさに重点が置かれている。オールカラーでイラストや図版も豊富。利用者向けの説明資料としても使える。

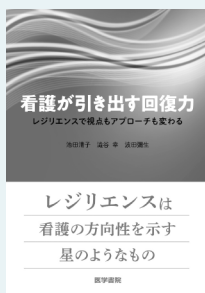
看護が引き出す回復力

レジリエンスで視点もアプローチも変わる

池田清子、澁谷 幸、波田彌生＝著

定価：2640円（本体2400円＋税10％）

発行：医学書院 ☎03-3817-5600



本書ではレジリエンスを「人生に訪れるさまざまな逆境から立ち直り次へと進む過程」と捉え、事例や文献から、個人、地域、組織のレジリエンスを読み解く。逆境にある人の回復プロセスを支援する看護職がその考え方を知ることによって、困難に立ち向かう力や回復力の捉え方が深みを増し、看護の可能性を広げてくれる。

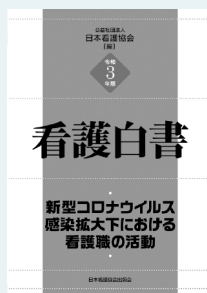
令和3年版 看護白書

新型コロナウイルス感染拡大下における看護職の活動

日本看護協会＝編

定価：3960円（本体3600円＋税10％）

発行：日本看護協会出版会 ☎0436-23-3271



看護界の重要テーマと最新の動向を、日本看護協会の重点事業を踏まえて紹介する白書の令和3（2021）年版。新型コロナウイルス感染拡大下の看護マネジメントや組織的な取り組みを紹介する他、保健所保健師や感染症看護専門看護師、クラスターが発生した病院など、看護現場からの報告も収載している。

ナースのチカラ⑤

私たちにできること 訪問看護物語

広田奈都美＝著

定価：825円（本体750円＋税10％）

発行：秋田書店 ☎03-3265-7360



現役看護師でもある作者が「訪問看護の現場をリアルに描く。心臓に障害のある赤ちゃんの看取りや、夫からネグレクトされる認知症の妻に関わる訪問看護師のほか、コロナ看護のストレスで追いつめられる病棟看護師など、危機的状況下でも奮闘する看護師たちの本音と悩みが見えてくる。人気コミックの第5巻。